



# 伊都消防署便り

第 4 0 号

九度山町消防出初式



高野口小学校 (文化財防火デー訓練)



## 未来につながる

高野口こども園 (防火パレード)



## 防災の輪

西飯降子供会 (年末特別警戒)



中古沢婦人防火クラブ (救急講習会)



平成 27 年度 全国統一防火標語

無防備な 心に火災が かくれんぼ

消防長あいさつ



消 防 長  
益田 光則

伊都消防組合が昭和55年に業務を開始して以来、本年度36年を迎えようとしています。この間、地域住民の皆様には消防行政の推進に深い御理解と御協力を賜っておりますことを心から厚くお礼申し上げます。

さて、当消防本部にも36年という歳月の経過に伴い様々な課題があります。その一つが消防通信指令機器の更新でありました。しかし、このことにつきましては皆様にお知らせをさせていただいているとおり、伊都消防組合消防本部、橋本市消防本部及び高野町消防本部の3消防本部による消防指令業務の共同運用という形で整備をすることとなりました。

橋本市消防本部の2階に最新の

通信指令装置を設置し、「橋本・伊都地域消防指令センター」として本年4月1日から共同運用業務を開始いたします。センター職員は、各消防本部から派遣されるセンター長・副センター長を含めた14名の職員で構成され、一の班4名で24時間をカバーする3班交替制勤務となります。

指令業務の内容は、指令センターへの移行後も大きく変わりはありませんが、消防本部間で若干異なっていたことにつきましては、検討を重ね調整をしております。しかし、運用を開始していく中で新たに出る問題は、その都度十分に検討を行い改善していく所存でございます。

また、当消防本部開署時に採用された職員が、大量に退職する時期を迎えます。平成30年度からの6年間で経験豊富な22人が退職し、新規職員と入れ替わっていきま

地域住民の安全・安心を守るため

す。この対応を図るべく新人職員育成計画を作成し、確実な業務が遂行できるよう、育成に取り組んでまいります。長年の経験で培ってきた技術と知識を後輩職員に確実に伝承し、住民の皆様の生命・身体・財産を守る業務遂行に支障をきたすことのないよう努めてまいります。

目の前の早期に解決すべき課題を各関係機関と十分に検討しな

がら対処していくとともに、住民の皆様が安心して生活していただく安全な地域づくりに職員一致団結して邁進してゆく所存でございますので、今後とも御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

伊都消防組合議会構成

伊都消防組合議会議員は、当組合を構成する橋本市、かつらぎ町、九度山町から各3名で、次の方々であります。

議長 中本 正人(橋本市)

〔議会議長〕

副議長 井上 崇 (九度山町)

〔議会議長〕

議員 田中 博晃(橋本市)

〔総務常任委員会委員長〕

議員 平田 宗一郎(橋本市)

〔消防副団長〕

議員 赤阪 岩男(かつらぎ町)

〔議会議長〕

議員 新堀 行雄(かつらぎ町)

〔総務産業常任委員会委員長〕

議員 木村 幸義(かつらぎ町)

〔消防団長〕

議員 松谷 要 (九度山町)

〔総務文教常任委員会委員長〕

議員 中谷 裕一(九度山町)

〔消防団長〕



# 救急車同乗研修



紀北分院 看護師  
望月 香利

体験当日、消防署に着いてすぐに出動がかりました。その時に思ったことは、一秒を争う救急搬送であるため、事前に物品のチェックをおこない、いつでもすぐに出勤できる状態にしておかなければならないということです。救急車内は、整理整頓されており、十分な物品が補充されています。そして、すぐにバイタルサインや処置がおこなえる環境となっていました。救急車内では、処置をおこない、患者の情報収集をおこないながら、搬送先を探していました。救急車に乗車している3人という少人数の中で役割が決まっており、声かけをおこないながら連携をとっていました。患者に処置をおこなうときは、即座に患者を観察し、確実な

判断をして最善の処置をおこなわなければなりません。そのためには、知識、経験、判断力が必要であると思えました。また、処置をおこなうだけでなく患者さんに対する思いやりが見られました。患者さんの名前を呼び、声をかけながら、苦しいという気持ちに寄り添う姿が見られました。救命士さんが声をかけると患者さんの苦痛の表情が和らいだように感じました。一秒を争う現場の中でも患者さんへの声かけを忘れずに処置をおこなっている姿がとても記憶に残りました。

## 一日救急隊員



放水や煙体験などの訓練では、

実際の火災現場を想定しておこないました。体験して感じたのは、どの訓練も体力や技術が必要ということです。傷病者を救助するには、体力づくりや日々の訓練の積み重ねが大切であると思えました。私は、伊都消防の管轄の地域に住んでいます。消防署の前を通ると標語が大きく掲げられています。思わず笑みがこぼれてしまう標語もあり、それを見るたびに自分の生活を見直し、意識して生活するようになりま

す。

救急車の出動は、1年で約1500件あり、この出動回数多さを聞き驚きました。出動がかけると、1分1秒でも早く救急車は現場に向かいます。今日も外でサイレンが聞こえます。

サイレンを聞いたときに伊都消防の方々の制服姿、懸命な背中が浮かびます。「〇〇さん、大丈夫ですか。」と寄り添う声が今にも聞こえてきそうです。

お忙しい中、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

### 消防職員意見発表会

### 消防職員研究発表会



下村 清隆



南方 邦宏

昨年7月に開催された和歌山県消防職員研究発表会に当消防本部の代表として下村清隆消防司令補が出席しました。発表会では、職場内でのメンタルヘルスをテーマとした研究発表を行い、最優秀賞を受賞し東近畿支部消防研究会に和歌山県代表として出場し、見事入賞しました。

昨年10月に開催された和歌山県消防職員意見発表会に当消防本部の代表として南方邦宏消防士が出席しました。発表会では、紀伊半島大水害で自ら被災した体験をもとに地域防災意識の向上をテーマとした意見発表を行い、見事入賞しました。

# 橋本・伊都地域消防指令センター—運用開始

平成28年4月1日から、橋本・伊都地域消防指令センターが橋本市消防本部庁舎内に開設され、3消防本部の指令業務の共同運用を開始します。

橋本市消防本部と伊都消防組合消防本部、そして高野町消防本部でそれぞれ受信していた119番通報を、新しい指令システムを導入した橋本・伊都地域消防指令センターで一括受信し、各消防本部の署に出動を指令し、これを受けてこれまでと同様に各消防署から消防車や救急車等が出動いたします。

指令業務を共同運用することにより、3消防本部の相互連携が容易になり、大規模災害時や市町の境界付近で発生した災害などに、より迅速に対応することができるようになります。

消防指令センターは橋本市消防本部庁舎2階に構築されます。



橋本市  
かつらぎ町  
九度山町  
高野町  
からの119番通報

- ・一般電話（IP電話含む）・携帯電話からの発信地表示対応可能
- ・聴覚障がい者からのメール・FAX通報対応可能



橋本・伊都地域消防指令センター  
〒648-0072  
橋本市東家六丁目2番1号  
TEL0736-34-0119 FAX0736-32-0119

各市町消防本部・署へ出動指令



橋本市消防署

出動



伊都消防組合消防署

出動



高野町消防署

出動



橋本市消防本部

橋本市東家六丁目2番1号

TEL 0736-33-0119 FAX 0736-33-0630

伊都消防組合消防本部

伊都郡かつらぎ町妙寺126番地12

TEL 0736-22-0119 FAX 0736-22-1215

高野町消防本部

伊都郡高野町高野山600番地

TEL 0736-56-3820 FAX 0736-56-3821

橋本・伊都地域消防指令センター運用開始に向けてのお願い!!

◆伊都消防組合消防本部の玄関前に「緊急電話」を設置します。この「緊急電話」は、夜間や署員不在などの場合を想定し、火災や救急などを通報するため、駆け込んだ住民の方々の連絡手段を確保するためのものです。ボックスの蓋を開け、受話器を持ち上げると指令センターに繋がります。119番通報時と同様に通信指令員が応答しますので用件をお話してください。

◆消防指令センターは、119番通報の受付業務を担う場所です。119番は、緊急専用電話であり、病院紹介・病院案内のお問い合わせの場合は、消防指令センター代表電話番号へおかけ下さい。また各種災害関係以外のお問い合わせの場合は、伊都消防組合消防本部代表電話番号へおかけ下さい。

橋本・伊都地域消防指令センター代表電話番号 0736-34-0119 Fax 0736-32-0119  
伊都消防組合消防本部代表電話番号 0736-22-0119 Fax 0736-22-1215

◆119番通報時に「サイレンは鳴らさないで来てほしい!」と申し出る方がいますが、消防車や救急車の緊急走行は赤色回転灯の点灯とサイレンの吹鳴が法律で義務付けられています。サイレンを吹鳴せず現場に出動することはできません。

皆様のご理解・ご協力をお願いします

119番通報のかけ方

119番は『命のホットラインです』

局番なしで  
119番  
をダイヤルします

●橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町で火災・救急・救助などの災害が発生した場合、一般電話や携帯電話で119番通報すると消防指令センターで受信します。災害の状況を聴取すると出動指令がかかり、消防車・救急車などが出動します。

●通報はあわてずに落ち着いて!

正確な通報が、被害の軽減につながります。一番大切なのは、災害発生場所をできるだけ正確に伝えていただくことです。

●たくさんお聞きしている中でも!

消防車や救急車は、既に出動して、現場に向っています。お聞きする内容は、あなたの命や財産を災害から守るためにとても大切な情報です。

●すぐに切らないで!

119番通報は、助けを求める人と消防との間に結ばれた『命のホットライン』です。

各幼年消防クラブの皆さんありがとうございました。

- 九度山幼稚園
- 高野口こども園
- 四郷保育所
- 笠田保育所
- 妙寺保育所
- 中部保育所
- 丁ノ町保育所
- 中飯降保育所
- 応其こども園
- 香久の実保育園
- 渋田保育所

〈防火パレード実施団体〉

防火パレードでは、園児のみなさんが火の用心の歌に合わせて、拍子木を打ち鳴らし、「火の用心」と元気な声を上げて、地域のみなさんに火災予防を呼び掛けました。



妙寺保育所幼年消防クラブ

伊都消防組合消防本部では、秋の全国火災予防運動のイベントの一環として、伊都消防幼年消防クラブに所属している園児のみなさんのご協力を頂いて、各地区で防火パレードを行いました。







# 防火ポスター入賞作品



少年期から防火に対する知識を身につけ、家庭及び学校生活において火災予防の徹底を図ることを目的として、管内の各小学校4年生を対象に防火ポスター、5年生を対象に防火標語を募集したところ、多数の応募をいただきました。

これら応募作品を、厳正に審査した結果、次の方々が入賞されました。



河口 倅芽  
大谷小学校



園田 琳悠  
笠田小学校



神保 妃南  
九度山小学校



軒 佳史  
信太小学校



池田 瞳月  
高野口小学校



## 特選・優秀作品!!



三木 悠矢  
妙寺小学校



山本 和紗  
応其小学校



木村 文哉  
妙寺小学校



荻野 愛  
梁瀬小学校



越智 琴葉  
高野口小学校



釜谷 英汰  
九度山小学校



福本 真夕  
笠田小学校



福岡 秋桜  
大谷小学校



渡辺 華妃  
妙寺小学校



杉本 茉耶  
応其小学校

# 防 火 標 語 入 賞 作 品

## 最優秀賞

見届けて 最後はあなた 火の始末

渋田小学校

木村 厚介

## 優秀賞

「大丈夫？」 家族みんなで 声かけを

笠田小学校

山本 日菜乃

大切な 家族を守ろう 火の用心

渋田小学校

宮本 樹希

火の始末 忘れず確認 あなたの火

応其小学校

久保 祐人

火の元を はなれず見守る 心がけ

高野口小学校

櫻井 翔

火を消した 声かけ、確認 火の用心

九度山小学校

岡 優里

## 佳作

消えたかな みんなで確認 火のしまつ

笠田小学校

大家 美咲

火の用心 するとしないで 大違い

笠田小学校

目良 優和

火の用心 みんなで町を 守りましょう

渋田小学校

三木 海人

ねる前も 出かける前も 火の確認

渋田小学校

智多 佑里香

消したはず 再度確認 火の始末

渋田小学校

片浦 千寛

消したかな 再確認で 火災ゼロ

大谷小学校

辰巳 未唯

要注意！ 火遊び禁止 火事のもと

大谷小学校

北山 紗衣

「消したかな」きちんと確かめ 再確認

大谷小学校

北川 蒼空

消した忘れ 少しのゆだんが 火事のもと

妙寺小学校

亀田 英

あぶないよ 火の消しやすれ 火事のもと

妙寺小学校

石村 玲奈

出かける前 消したつもりが 火事のもと

高野口小学校

中尾 流唯

誰かする それが危ない 火事のもと

高野口小学校

亀山 十音

気をつけろ 火のあとしまつ もう一度

高野口小学校

寺角 拓真

火のもとを 点検しよう ねる前に

高野口小学校

森 愛真

消したよね 火の元チェック 絶対に

九度山小学校

中西 陽歩

消したかな 二度目のチェック 忘れずに

九度山小学校

河合 隆志

土居 稔季

(入賞作品・入賞者は順不同、敬称略)

## 防火対象物への立入検査について

伊都消防組合では防火対象物への立入検査を実施しております。

近年、防火対象物において火災や事故により、全国各地で死傷者の発生する痛ましい事案が発生しています。

このことから、消防法の改正がなされ、消防用設備等の充実強化が提唱されています。

当消防組合でも自動火災報知設備等をはじめとした、消防設備の設置や維持・管理の充実指導を積極的に行い、火災をはじめとする事故の発生を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るために、防火対象物への立入検査を一層充実させ、安心・安全を推進します。



## 甲種防火管理新規講習会のご案内

防火管理とは、火災の発生を予防するとともに、万一火災が発生した際でもその被害を最小限に抑えるために万全の対策を立て、実施することです。

火災による被害を最小限に抑えるため、一定規模以上で人が出入りし、勤務し、または居住する対象物には防火管理の実施が消防法等で義務付けられています。

伊都消防組合では、(二財)日本防火・防災協会主催で「甲種防火管理新規講習会」を次の日程で2日間にわたり、開催する予定です。

詳しくは、伊都消防組合消防本部予防課までお問い合わせ下さい。

【日程】平成28年6月15日(水)～16日(木)

【問い合わせ先】☎0736(22)0119

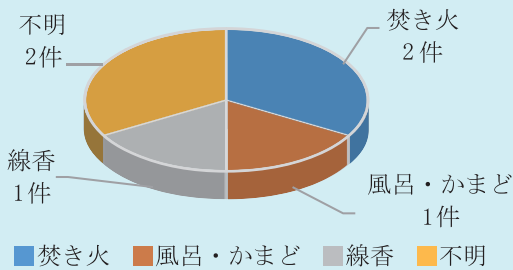




# 消防白書



## 火災件数 (平成 27 年中)

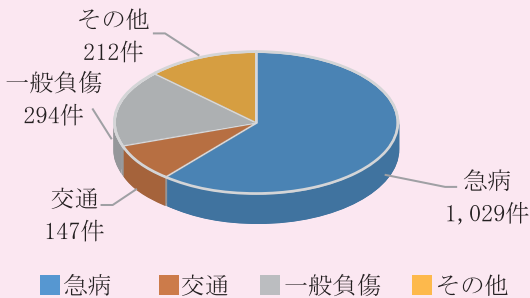


伊都消防開署からの火災件数 (昭和 55 年～平成 27 年)

市 町 名	件数
橋本市(高野口区域)	2
かつらぎ町	3
九度山町	1
合 計	6

市 町 名	件数
橋本市(高野口区域)	259
かつらぎ町	382
九度山町	108
合 計	749

## 救急件数 (平成 27 年中)

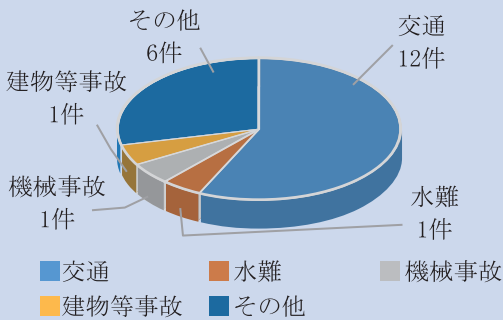


伊都消防開署からの救急件数 (昭和 55 年～平成 27 年)

市 町 名	件数
橋本市(高野口区域)	584
かつらぎ町	855
九度山町	233
管 外	10
合 計	1,682

市 町 名	件数
橋本市(高野口区域)	15,757
かつらぎ町	23,198
九度山町	6,333
管 外	237
合 計	45,525

## 救助件数 (平成 27 年中)



伊都消防開署からの救助件数 (昭和 55 年～平成 27 年)

市 町 名	件数
橋本市(高野口区域)	5
かつらぎ町	10
九度山町	6
管 外	0
合 計	21

市 町 名	件数
橋本市(高野口区域)	202
かつらぎ町	521
九度山町	164
管 外	21
合 計	908

### 第44回消防救助技術大会

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素を練磨することにより、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術を養うとともに、競い、学ぶことをつうじて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、住民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的としております。

当消防本部からは、11名の隊員が和歌山地区大会に出場し、各種目で優秀な成績を収めました。

なかでも、ロープブリッジ渡過の部で、松浦隊員が1位となり、全国大会に出場しました。

各地区大会を突破した、救助隊員が全国から集まり、日頃鍛え上げた救助技術を披露しました。

#### 【ロープブリッジ渡過】

松浦 巧 県1位 (全国大会出場)

岡 昭宏  
松尾 隆矢

#### 【はしご登はん】

南方 邦宏  
高橋 成寿

#### 【ロープ応用登はん】

門 誠・山本 健之

堀 隼夫・東 大智

辻本 雅洋・林 晃史  
組 組 組

